

悪質商法に 遭わないために

増えている
悪質商法

公的機関と思わせるような事業所を名乗って「水質検査をします」と家に入り込み、くみ取った水を薬で色を変化させて「これは体に良くない、浄水器をつけようがいいですよ」などと高額な浄水器の購入を迫られた、突然の電話で「10年以上前に購入された羽毛布団に、リフォームのサービスが付いてまして、そのリフォームに伺います」と言われ、自宅に来てもらおうと、結局は100万円近くする布団のセットを勧められたなどといった苦情が、最近数多く寄せられています。

被害に遭わないための 心掛け

悪質商法の被害に遭わないために、次のことを心掛けましょう。

○必要がないならきっぱり断る

相手はプロ。あいまいな返事や相づちを打っていると、いつのまにか相手のペースにのせられます。



身分と用件を聞き、必要がなければはつきりと断りましょう。

○『無料』や『あなただけ』という上手い話に要注意

無料の誘い文句に誘われて、トラブルに巻き込まれる事例がたくさんあります。

○知らない人を家に入れない

家庭を訪ねてくる悪質商法の防衛ラインは玄関先。話を聞く前に引き取ってもらいましょう。

○一人で悩まず相談を

契約する前に家族や友人・知人に相談しましょう。

身近に相談できる人がいない場合や困った事があつたら、できるだけ早く、市の消費生活相談室へ相談しましょう。

▼問い合わせ 市民課

(☎1855)

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

幌別剣道スポーツ少年団

幌別剣道スポーツ少年団『登別錬真館』は、昭和45年に結成され、『一、勉強します』

一、剣道します
一、よい行いをします。』

の三誓願をモットーに、5歳から中学3年生までの団員40人が指導者9人のもと、週2回(毎週火・土曜日の18時から20時まで)、登別市青少年会館で練習に汗を流しています。

「卒団しても剣道を続け、練習に参加している者もたくさんいます。剣道を通して持続力、忍耐力を養っていきたいですね。団の運営では、父母の協力が心強くとっても助かっています」と館長の花井悠明さんは、話してくれました。

団では、市内や胆振・日高管内道南ブロックで開かれる大会に参加して日ごろの練習成果を競い合



っています。

剣道以外の活動としては、毎年レクリエーションとして、ジーンズスカンやゲームなどを行い、団員とその家族の交流を図り、親睦を深めています。

幌別西小学校4年の對馬亨君、青葉小学校4年の山田菜津美さんは、「練習は最初は痛かったけど、今は痛みは感じなくなりました」と、大会に向けて、はりきって練習をしていました。

子どもたちの練習への取り組みを見てみると、みんな真剣そのもの。休み時間にみせる笑顔からは想像もできません。

入団や見学を希望される方は、花井さん(☎2660)までどうぞ。

剣道を通して『持続力』『忍耐力』を身につけたい

